

青山アカデメイア 履修証明プログラム用シラバスフォーマット

年度	Academic Year 2019
授業科目名	司法通訳(スペイン語)Ⅱ
学期	秋学期
教員名	中西智恵美

講義概要

裁判や捜査、弁護士接見等、法律がからむ場面での通訳に際し注意すべき点などの理解をさらに深めるとともに、通訳の基礎訓練を通じて実践で使えるスペイン語の知識や通訳技能の基礎を学ぶ。

達成目標

法廷通訳など日本の法律がからむ様々な場面での通訳をするのに必要な知識と技能を身につける。

履修条件(前に履修しておくことが望ましい科目など)

通訳の訓練を始めるのに必要なレベルのスペイン語の語学力があり、好奇心と向学心を持って勉強を続けられること。司法通訳(スペイン語)Ⅰを履修していること。

授業計画

1	授業計画	各種事件の起訴状の翻訳・通訳の注意点(全般)
	事前学習	法廷通訳ハンドブックの該当ページを眺めておく
	事後学習	授業ノートの再確認
2	授業計画	薬物事件の通訳の注意点と語彙の確認
	事前学習	近年起きた薬物がらみの事件について調べてみる
	事後学習	授業ノートで語彙や訳し方、注意点などを再確認
3	授業計画	取調べの通訳その2
	事前学習	司法通訳Ⅰのノートの読み返し
	事後学習	授業ノートで語彙や訳し方、注意点などを再確認
4	授業計画	弁護士接見通訳その2
	事前学習	司法通訳Ⅰノートの読み返し
	事後学習	授業ノートで語彙や訳し方、注意点などを再確認

5	授業計画	窃盗事件の模擬法廷5(論告・求刑)
	事前学習	事前に渡しておく「書面」の翻訳(通訳準備)
	事後学習	授業ノートで訳し方や注意点の再確認
6	授業計画	窃盗事件の模擬法廷6(弁論)
	事前学習	事前に渡しておく「書面」の翻訳(通訳準備)
	事後学習	授業ノートで訳し方や注意点の再確認
7	授業計画	窃盗事件の模擬法廷7(判決言い渡し)
	事前学習	事前に渡しておく「書面」の翻訳(通訳準備)
	事後学習	授業ノートで訳し方や注意点の再確認
8	授業計画	通訳面から見た民事事件と刑事事件の違いなど
	事前学習	近年ニュースになったトラブルなどを思い出してみる
	事後学習	授業ノートの読み返し
9	授業計画	少年審判についての注意点や語彙確認など
	事前学習	近年起きた少年事件について調べてみる
	事後学習	授業ノートで語彙や訳し方、注意点などを再確認
10	授業計画	入管法関係
	事前学習	入管法に関するニュース記事(多少古いものでも可)を読んでもみる
	事後学習	授業ノートで語彙や訳し方、注意点などを再確認
11	授業計画	自動車運転に関する法律と事件
	事前学習	必要になりそうな単語などを想像し、調べる
	事後学習	授業ノートで語彙や訳し方、注意点などを再確認
12	授業計画	傷害事件、殺人事件など
	事前学習	必要になりそうな単語などを想像し、調べる
	事後学習	授業ノートで語彙や訳し方、注意点などを再確認
13	授業計画	裁判員裁判の通訳に関する注意点など
	事前学習	近年行われた裁判員裁判について調べてみる
	事後学習	授業ノートを読み返す
14	授業計画	控訴審の通訳に関する注意点など
	事前学習	授業で使った一審のストーリーを思い出し、ポイントを整理しておく
	事後学習	授業ノートで語彙や訳し方、注意点などを再確認

15	授業計画	まとめと理解度確認(試験)
	事前学習	今学期習った法律用語や訳し方、注意点などを再確認しておく
	事後学習	難しかった点などを振り返る

授業方法

模擬法廷を含め、実際にいろいろ訳す機会を多く設ける。
説明中にも当てて答えてもらうことがある。論告・弁論要旨の翻訳など、事前準備が必要な回も少しあるので要注意。

成績評価方法

成績は理解度確認試験の点数と授業態度、授業中の通訳上達度などで総合評価する。

青山アカデミア 履修証明プログラム用シラバスフォーマット

年度	Academic Year 2019
授業科目名	司法通訳 II
学期	秋学期
教員名	板尾 彩未

講義概要

本講義では、オリジナルのシナリオ(台本)を活用した模擬裁判や模擬取調べでの通訳実践を行い、専門用語並びに通訳困難な表現及び語句の通訳手法を学習します。

達成目標

本講義では、模擬裁判及び模擬取調べでの通訳実践を通じて、通訳困難な表現及び語句の通訳に必要な技術を体得しつつ、専門用語に関する豊富な知識を学習し、司法通訳に求められる高度な通訳技術の体得を目指します。

履修条件(前に履修しておくことが望ましい科目など)

ポルトガル語での日常会話ができること、かつ、基本的な法律用語の通訳ができることが前提になります。

授業計画

1	授業計画	後期の授業内容の紹介、次回講義で使用するシナリオの説明
	事前学習	シナリオ(論告及び弁論要旨)を翻訳すること
	事後学習	模擬裁判で通訳を担当する箇所を確認すること
2	授業計画	模擬裁判での通訳実践(証人尋問, 被告人質問を含む。)
	事前学習	模擬裁判で使用するシナリオ(起訴状, 冒頭陳述, 論告及び弁論要旨)を翻訳すること
	事後学習	本日の講義内容を確認すること
3	授業計画	Contos (短編小説)を用いて法律用語の説明をする
	事前学習	授業で扱う単語の同義語を調べる
	事後学習	授業内容を復習する
4	授業計画	模擬弁解録取手続及び模擬勾留質問手続による通訳実践
	事前学習	事前に配布した資料を翻訳すること
	事後学習	授業内容を復習する
5	授業計画	ポリグラフ検査の通訳をする際の留意点及び通訳実践
	事前学習	事前に配布した資料を翻訳すること

	事後学習	授業内容を復習する
6	授業計画	強盗事件における頻出用語の通訳及び解説(日本刑法とブラジル刑法の比較)
	事前学習	事前に配布した資料を翻訳すること
	事後学習	授業内容を復習する
7	授業計画	暴行罪や傷害罪などの頻出用語の通訳
	事前学習	事前に配布した資料を翻訳すること
	事後学習	授業内容を復習する
8	授業計画	模擬裁判で使用するシナリオの説明
	事前学習	事前に配布した資料を翻訳すること
	事後学習	模擬裁判で使用するシナリオを翻訳する
9	授業計画	裁判員裁判対象事件の模擬裁判での通訳実践(否認の殺人事件) 前半 (否)
	事前学習	模擬裁判で通訳を担当する箇所を確認すること
	事後学習	模擬裁判で使用するシナリオを翻訳する
10	授業計画	裁判員裁判対象事件の模擬裁判での通訳実践(否認の殺人事件) 後半 (否)
	事前学習	模擬裁判で通訳を担当する箇所を確認すること
	事後学習	授業内容を復習する
11	授業計画	脅迫・詐欺事件など言辞を伴う事件の通訳をする際の留意点
	事前学習	事前に配布した資料を翻訳すること
	事後学習	授業内容を復習する
12	授業計画	法律文章の特徴及び翻訳についての解説
	事前学習	事前に配布した資料を翻訳すること
	事後学習	授業内容を復習する
13	授業計画	契約、相続、取得時効制度及び制限行為能力者制度の頻出用語の翻訳及び解説(日本民法とブラジル民法の比較)
	事前学習	民法の条文を確認すること(ただし、事前に指定された条文のみ)
	事後学習	授業内容を復習する
14	授業計画	民事事件の頻出用語の通訳及び解説(求償権代位)
	事前学習	事前に配布した資料を翻訳すること
	事後学習	授業内容を復習する
	授業計画	試験

15	事前学習	これまでの授業内容を復習する
	事後学習	特になし

授業方法

本講義では、オリジナルのシナリオなどを用いて模擬裁判で実践的な通訳を行うほか、専門用語の説明及び法比較を行います。

成績評価方法

本講座では、授業の出席(60%)のほか、本学期末に行う試験(40%)により総合的に成績を評価します。

青山アカデミア 履修証明プログラム用シラバスフォーマット

年度	Academic year
授業科目名	司法通訳Ⅱ
学期	秋学期
教員名	鷲頭小弓

講義概要

司法通訳は中立な立場で言葉の意味を正確に通訳し、専門家に判断を委ねることが大切です。引き続き正確な逐次通訳のトレーニングを重ねながら、サイトトランスレーションや同時通訳のトレーニングを行います。また相談通訳における注意事項を理解し、パラフレイズやサマライズのトレーニングも行います。ノートテキングの方法を考察し通訳技術の向上を目指します。

達成目標

公判手続の流れを理解し、通訳技術の向上を図るとともに、曖昧な部分があれば聞き返しや言い換えを求めることが出来るよう、見識や自信を体得することを目標とします。相談通訳では信頼される態度で話を聞き、話された内容を整理し、守秘義務を守って適切な相談窓口に繋ぐことが出来るようになることを目標とします。

履修条件(前に履修しておくことが望ましい科目など)

水野真木子他共著『グローバル時代の通訳』三修社の通訳トレーニングでラギングとシャドーイングでウォーミングアップする。法曹界『法廷通訳ハンドブックベトナム語』の日越対訳をよく読んでおく。杉澤経子・関聡介・阿部裕共著松柏社『外国人相談の基礎知識』等を参考に外国人相談において用いる専門用語に慣れておくことが望ましい。

授業計画

1	授業計画	一般的な文章でサイトラと同時通訳のトレーニング導入
	事前学習	春学期に行ったラギングやシャドーイングを復習
	事後学習	過失運転致傷の供述調書でサイトトランスレーション
2	授業計画	過失運転致傷、供述調書、勾留尋問①
	事前学習	関連する法律や刑事事件の新聞記事を読んで予想を立てる。
	事後学習	自分の通訳を振り返って省察し、新しく覚えた単語を整理する。
3	授業計画	進路を妨害する罪、供述調書、勾留尋問②
	事前学習	関連する法律や刑事事件の新聞記事を読んで予想を立てる。
	事後学習	自分の通訳を振り返って省察し、新しく覚えた単語を整理する。
4	授業計画	出入国管理法違反、供述調書、勾留尋問③
	事前学習	関連する法律や刑事事件の新聞記事を読んで予想を立てる。
	事後学習	自分の通訳を振り返って省察し、新しく覚えた単語を整理する。

5	授業計画	覚醒剤取締法違反、供述調書、勾留尋問④
	事前学習	関連する法律や刑事事件の新聞記事等を読んで予想を立てる。
	事後学習	自分の通訳を振り返って省察。「累計常習窃盗」の予習。
6	授業計画	累計常習窃盗、証拠調べ、論告・求刑、同時通訳①
	事前学習	同時通訳の事前資料を受け取り、準備。
	事後学習	自分の通訳を振り返って省察。「詐欺罪」の予習。
7	授業計画	詐欺罪、証拠調べ、論告・求刑、同時通訳②
	事前学習	同時通訳の事前資料を受け取り、準備。
	事後学習	自分の通訳を振り返って省察。「傷害罪」の予習
8	授業計画	傷害罪、証拠調べ、論告・求刑、同時通訳③
	事前学習	同時通訳の事前資料を受け取り、準備。
	事後学習	自分の通訳を振り返って省察。「組織的な犯罪」を予習。
9	授業計画	組織的な犯罪、証拠調べ、被告人質問
	事前学習	関連する法律や刑事事件の新聞記事等を読んで予想を立てる。
	事後学習	自分の通訳を振り返って省察。「出入国管理法違反」を予習。
10	授業計画	出入国管理及び難民認定法違反、証拠調べ、証人、被告人質問
	事前学習	関連する法律や刑事事件の新聞記事等を読んで予想を立てる。
	事後学習	自分の通訳を振り返って省察。「DV離婚」について予習。
11	授業計画	相談通訳におけるパラフレイズ、サマライズ「DV離婚」①
	事前学習	外国人相談者がどのような立場に置かれているかを想像する。
	事後学習	自分の通訳を振り返って省察。「三者面談」について予習。
12	授業計画	相談通訳におけるパラフレイズ、サマライズ「三者面談」②
	事前学習	外国人相談者がどのような立場に置かれているかを想像する。
	事後学習	自分の通訳を振り返って省察。「労働相談」について予習。
13	授業計画	相談通訳におけるパラフレイズ、サマライズ「労働相談」③
	事前学習	外国人相談者がどのような立場に置かれているかを想像する。
	事後学習	自分の通訳を振り返って省察。「在留資格」について予習。
14	授業計画	相談通訳におけるパラフレイズ、サマライズ「在留資格の相談」④
	事前学習	外国人相談者がどのような立場に置かれているかを想像する。
	事後学習	自分の通訳を振り返って省察。新しく学んだ単語を整理。

15	授業計画	逐次通訳、サイトトランスレーション、同時通訳のテストを実施
	事前学習	これまで学習した内容を復習。
	事後学習	訳出が難しい言葉や表現をどのように訳すかという課題と向き合う。

授業方法

取調べから勾留尋問の手続き、公判の冒頭手続きから証拠調べ、被告人質問、論告・求刑、被告人の最終陳述等、実際の裁判の流れをよく理解し、法廷通訳ができるよう逐次通訳、サイトトランスレーション、同時通訳のトレーニングを行います。また相談通訳の在り方について学びます。

成績評価方法

声の大きさ、発音、話し方、聞き方を総合的に評価します。また、通訳技術としては、話す人の表情を見ながら適宜メモを取り、漏らさずに正確に訳出しているか。わからない言葉があればその場で調べる、質問するなどして誠実な態度で通訳に臨んでいるか、多文化共生の意識があるかを評価します。